

未来まちづくりニュース



柏ビレジ自治会・未来まちづくり部・活性化プロジェクト・メンバーの皆さん

TOPICS

- ニュースレター創刊のお知らせ
- 柏ビレジ商店会共通利用券4,441枚売れる
- ネットスーパーによる買い物支援
- 柏ビレジ入居者増に向けた働きかけ
- 朝の見守り活動
- 柏ビレジの交通対策
- こんな施策も検討しています
- 柏ビレジ活性化プロジェクトの取り組み
- 未来まちづくり協議会 情報

■ ニュースレター創刊のお知らせ

会長 シュビンドラー 千恵子



柏ビレジが誕生して約40年が経ち、当時植えたシンボルツリーも高々と伸び、子供たちも大きく成長して巣立っていきました。40年の間には前進あれば後退もあり、まちは年月とともに変化しています。私たちも確実に歳をとりましたが、お孫さんの誕生など新たな住環境も生まれています。この変化する住環境へ対応し、まちをリ・プロデュースする(再生する)ために今年7月、未来まちづくり部を新設、当部の活性化プロジェクトでは、具体的な施策を推進しています。それは、夢のある楽しいことや、交通・買い物不便を解消する等、生活に密着すること、商店街や街並みを考える

こと、子供やお年寄りを考えること等、さまざまです。やりたいことはいっぱいありますが、「まずはできることからやってみよう!」がポリシーです。この度、住民の皆様にも活動内容をお知らせするためにニュースレターを創刊しました。

「最も強いものが生き残るのではなく、最も賢いものが生き延びるものでもない。唯一生き残るのは、変化できる者である。」私の好きな言葉です。我がまち柏ビレジを自分でよくしたい、こんなアイデアはいいか?等、お問い合わせ大歓迎です。皆さん頑張っていますので、応援の程よろしくお願いいたします。なお、当ニュースレターは自治会HP(閲覧版)でもご覧いただけます。

■ 柏ビレジ商店会共通利用券 4,441枚売れる

便利な街づくり

施策担当リーダー 刑部 修



柏ビレジ商店会支援を目的に発行した共通利用券

商店会共通利用券の販売目標は4,000枚でしたが、4,441枚を売ることができました。それだけ柏ビレジ住民にとって「商店会は大切である」ということでしょう。また、本案件が遂行できたのは、柏ビレジ自治会の組織が堅固で民度が高いということです。あらかじめ申し込まれていた4,441枚の全利用券の販売において、10人の支部長と100人の班長によって、ビレジ住民から約220万円の金額を1円の狂いもなく集めることができたというのは驚嘆に値することだと思います。

もちろん、間違いが起こらないように、多くの方々のご協力を得て、すべての利用券に通し番号を付け、各購入者がどの番号の利用券を購入したかを記録する等の方策を取りました。しかし、今回の自治会網を使つての販売は、関係者の大きな労力を伴いましたので、次のステップにおいては、これらの負担を軽減できる販売方法を検討したいと思います。なお、本利用券の有効期限は2020年2月14日ですので、それまでにすべての手持ちの利用券をご使用いただけますようお願いいたします。

■ ネットスーパーによる買い物支援

便利な街づくり

メンバー: 高柳 キミエ(施策担当リーダー)、立林 紀世子、三石 紀子、松尾 貴子



昨今、高齢化の進展により免許証を自主返納するシニアの方々が增える中、雨の日や体調が悪い時などに買い物に出かける不便さを解消する手段の一つとして、活性化プロジェクトでは「ネットスーパーによる買い物支援」に取り組んでいます。ネットスーパーを利用しての買い物とは、持ち運びが不便な水・米などの重い物やかさばる物などは言うまでもなく、日々の食料品などの欲しい商品を、スマホやパソコンを使って自宅で注文し、配達時間を指定して商品を受け取れる仕組みです。今回、新樹会の会員を対象に、「ネットスーパーによる買い物講習

会を実施した場合の参加希望の有無」についてアンケートを実施した結果、60%以上の方々から「講習会があれば参加したい」との回答をいただきました。そこで、シニアの皆さんを中心に、対象を柏ビレジ全体に広げ、講習会を実施する方向で検討を進めていますので、日時等の詳細が決まりしだい、あらためてご案内させていただきます。

■ 柏ビレジ入居者増に向けた働きかけ

美しい街づくり

施策担当リーダー 宮崎 泰雄



受賞した「住まいのまちなみコンクール」国土交通大臣賞

柏ビレジは、「第14回住まいのまちなみコンクール」(後援:国土交通省)で多くの応募の自治体などの中から、「国土交通大臣賞」を受賞しています。これは、「美しいまちなみの維持」や「住民の多様かつ活発な取り組みによる住み良い環境」が評価されたものです。この受賞の意義を我々の地域での住まいの購入を考えている方々に広く知っていただくために、宅地建物取引業協会東葛支部を訪ねました。同支部には、柏市、流山市、野田市、我孫子市の取引仲介会社500社以上が加入しているとのこと。この会員の皆さんに受賞の意義を知っていただき、物件紹介時に受賞の事実を付け加えていただけないかと思っています。現在、同支部会員に、受賞の案内書配布を計画しています。仲介業者さんが、物件紹介時に積極的にご利用いただければ、柏ビレジの「国土交通大臣賞」受賞を知ること、一戸建て購入の際の良き参考ともなり、そして、柏ビレジへの入居者増加に繋がればと思っています。

■ 朝の見守り活動

安心な街づくり

施策担当リーダー 村上 伸二



地域の子どもの安全のために～朝の見守り活動

「活き活きとした未来に繋がるまちづくり」には、古くからの住民が「住み続けたい」と思え、若い世代が「住みたい」と感じるまちづくりが欠かせません。本活動は一昨年度実施した「子育て世代向けアンケート」の結果を受けて始めましたが、「活き活きとした未来に繋がるまちづくりアンケート」でも、「子育て世代向け施策の充実」に多くの声が寄せられています。そんな声に応える活動の一つとして 子どもたちの「安心・安全」を願う子育て世代にとってのまち選びの魅力の一つとなることを願って続けています。

今年度ご協力いただいている、柏ビレジテニスクラブ、新樹会、子ども会他19名の皆様については、次号でご紹介させていただきますが、継続的な活動にするには、毎年度新しいメンバーに入っていただき交代していければいいと考えています。現在は登校時の見守りのみで、下校時の見守り要望には応えられていません。体制が整えば下校時の見守り活動も検討したいと考えています。

募集中!

朝の旗振り隊

子どもたちは地域の宝です。お互いに助け合って、子どもたちを含む若い世代が少しでも安心して住めるまちにしたいものです。

1か月に1回(約30分)の活動に、是非、あなたの力をお貸しください。

[お問い合わせ先: 柏ビレジ自治会・事務局まで ☎ (04)7132-1925]

■ 柏ビレジの交通対策

便利な街づくり

施策担当 刑部 修 大野 達雄

柏ビレジにおける課題の一つが、過去に実施したアンケート結果からも明らかなように「交通対策」が最上位に位置付けられています。そのため、活性化プロジェクトでは、公共バスやオンデマンド交通、コミュニティバス、企業と連携したバス運行、EVや自動運転車など、さまざまな交通手段についてコスト、利便性、持続性などについて検討してきました。今回、集中的に取り組んでいる2つの交通手段についてご紹介します。



柏ビレジと主要駅間を運行している「東武バス」

■**東武バス**: 本年度 東武バスイースト(株)を3回訪問し、バスルート【柏3】(柏駅西口～柏たなか駅)の柏ビレジ内乗り入れと、バスルート【柏14】(柏駅西口～柏ビレジ)の柏たなか駅までの延伸による「柏ビレジ～柏たなか駅間のバス運行の実現」を繰り返し要請。更に、バスルート【柏14】と【柏10】(柏の葉キャンパス駅東口～柏ビレジ)の第3支部(例:花野井小学校前)を通るビレジ内循環運行も要請していますが、東武バス側の返答は、昨今の運転手不足の中、運転手の運転時間に厳しい制限があるため、運行距離が少し延びるだけで対応が困難になるとの返答に終始。

根本的には、採算性の点から、柏ビレジ住民のバス利用人数が少ないことが、前向きな返答を得られない理由とみられます。今後とも、ビレジ住人にとって少しでも便利なバスルート・便数を確保するために、東武バスと粘り強く折衝を続けて行きます。

■**オンデマンド交通**: 柏ビレジにおける交通対策の一環としてタクシーを利用したオンデマンド交通(*)の可能性について検討してきましたが、このほど当プロジェクトと一緒に取り組んでいただいている事業者より、提示した企画案に対して「実現可能」である旨、賛同をいただきました。まだまだ課題は残されているものの実現に向けて一歩前進する見通しとなりました。基本的な考え方は、柏ビレジを中心に5km圏の運行エリア(例:駅、病院、銀行、店舗など)を設定し、事前予約、相乗りを前提に距離ごとに割安の定額運賃で運行するというものです。今後、柏市とも協議を重ね、住民の皆さんの声をいただきながら一日も早い実現を目指してまいります。(*オンデマンド交通:利用者の事前予約に合わせて運行する地域公共交通のこと)



柏ビレジにおけるオンデマンド交通: 運行エリア案

■ こんな施策も検討しています

楽しい／便利な街づくり

活性化プロジェクトでは、ワークショップを通して、柏ビレジをより良いまちにするために取り組むべき課題として60もの課題を施策としてリストアップしました。「まずは、できるものからチャレンジしよう！」をモットーに、現在、その中から企画段階を経て取り組んでいる6つの施策についてご紹介します。

国際交流会の開催



ラグビー日本代表の「ワンチーム」は、多様な国籍の選手でしたが、彼らは日本代表として闘いました。ビレジでも、お互いの文化を認め楽しく交流でき助け合って生活できたら素晴らしいなと思いました。多様性を受け入れる新時代、外国人の方にも住みやすいまちにしたいです。

谷口マルティナ、シュピンドラー千恵子

自由交流の場づくり



様々な世代が集うこの街の交流を活性化できたら楽しいだろうなと思い、提案させていただきました。「みんなが笑顔で顔を合わせられる場」として商店街の中心に目をつけました。折角の土曜日の夕方、みんなで食べ物や飲み物を持ち寄って交流の時間を持つのはいかがでしょうか？

加藤広干&シュウビン、村松貴子

近隣センターの有効利用



柏ビレジ近隣センターについて、柏市は2026年から2035年の間に廃止、テニスコートをスポーツ施設に転用、建物は2041年に除却する一方、管理棟とトイレを整備する計画です。今後も市の動きを注視しながら、ビレジ住民にとってより利用しやすい施設の実現に取り組んでいきます。

中野克美

クリーニング代替手段の検討



柏ビレジ商店街のクリーニング店が2018年7月に撤退。それ以降の東急コミュニティによる誘致活動にも関わらず現在でも誘致が実現していません。クリーニング市場は過去24年間でピーク時の1/3にまで減少しており、当プロジェクトでは誘致活動と並行して同サービスの代替手段の情報を提供すべく活動しています。

高柳キミエ、大野達雄

キャンプやBBQの実施



わざわざ遠くに出かけなくても、自然環境の整った柏ビレジ内で、ファミリーを対象に、手軽にアウトドアライフを通じた交流を満喫できる「キャンプやBBQ」イベントの開催を検討しています。このプログラムを通して、住民同士の交流を深めていただくとともに、柏ビレジの魅力を再認識する機会となることを期待しています。

活性化プロジェクト

商店街駐車場の管理体制の整備

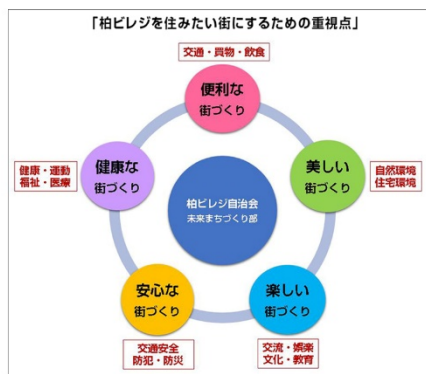


柏ビレジ商店街の駐車場は、長時間の無断駐車や買物以外での駐車などにより、商店街を訪れた本来の買物客の利用に支障をきたすケースが少なくありません。活性化プロジェクトでは、本来の買い物客の利便性の向上を最優先に、商店街の機会損失を減らすことも含め、改善策の実現に向け、検討を進めています。

活性化プロジェクト

■ 柏ビレジ活性化プロジェクトの取り組み

活性化プロジェクト・リーダー 大野 達雄



「活性化プロジェクト」～活動の基本コンセプト図

活性化プロジェクトは「柏ビレジの魅力(=価値)向上」と「住み続けたいまちづくりの実現」を目標に、柏ビレジが抱えるさまざまな課題に取り組んでいるボランティア・グループです。2019年に新設された未来まちづくり部の下に位置付けられ、自治会と密接に連携しながら各種施策に取り組んでいます。活性化プロジェクトは、「柏ビレジを住みたいまちにするための重視点」として、各種アンケート結果などをもとに、左図のような5つのコンセプト(*)を作りこれを基本に活動しています。(*全体を通した基本的な考え方)

活性化プロジェクトでは「便利なまちづくり」に相当する交通対策や商店街の活性化など、主に中・長期の課題に取り組んできましたが、本年度から短期的な課題も含めることにしました。これは、たとえ小さな課題であっても、一つひとつの課題解決の積み重ねがそのまま柏ビレジのまちづくりに直結し、結果的にプラスになると考えたからです。

もちろん、活性化プロジェクトは、「課題」解決に向け取り組む小規模グループですので、交通対策など、具体的な「施策」がある程度形になり、いざ実施する段階においては、自治会をはじめ、柏ビレジ全体で取り組む必要が出てくるものと考えています。そのためには、地域活動に日頃から積極的に取り組んでおられる諸団体の皆さんをはじめ、大学、行政、企業などとも連携を密に図りながら、同時に、住民の皆さんのお力添えをいただくことで、地域の課題が解決できるものと考えています。私たち活性化プロジェクトは、皆さんと力を合わせることで、こうした課題を解決し、「住み続けたいまちづくりの実現」に向け、少しでも貢献できるようチャレンジしてまいります。

